

# えんがわ

第11号

平成9年度特別展

## 「養蚕 錦絵の世界」 開催

養蚕は、古代日本にもたらされた技術です。特に江戸時代末期に生糸が海外に輸出されるようになり飛躍的に発展しました。宮代町でも明治時代をピークに昭和50年代の初期まで養蚕が行われていたことが、統計資料等からうかがい知ることができます。

今回の特別展では、ひと昔前の宮代の重要な産業であった養蚕をテーマに展示します。町民の皆様にご寄贈いただいた資料の中から特に錦絵にスポ

ットをあて、そこに描かれた養蚕やその道具を紹介いたします。

平成9年度特別展

「養蚕 錦絵の世界」

10月30日(木)～12月7日(日)



『福神蚕養乃図』 英斎筆 (当館蔵)



## わら細工教室

去る10月19日(日)午後2時から資料館敷地内の旧加藤家土間において、体験学習「わら細工教室」と題してわらぞうり作りが行われました。当日は、町内にお住まいの井上三千雄氏にご指導をお願いいたしました。

下は小学校低学年から上はご年配の方まで参加者は17名を数えました。わらぞうりの材料のわらも、井上三千雄氏が今年収穫した稲わらを使って、わら打ちをしてなわをなつたものです。

先生1人に生徒が17人。次々と生徒さんから質問があり先生はいそがしく飛び回っていました。



わらぞうり作りを教える井上氏



わらぞうり作りの様子

かやぶき民家旧加藤家の土間にごさを敷いて、わらぞうりを作る。なにか、わら細工の職人や、昔の農家の人になった気分でした。

できばえは人によってさまざまでしたが、ほとんどの方が初めてわらぞうり作りに参加した方でした。4時過ぎにわらぞうり作りは終了しました。

できばえや形の良さは、昔の人が作ったわらぞうりには、かなわないかもしれないけれど、すこし昔の人に近づいたような気がしました。

中には、片足分しかできなかつた方もいましたが、残ったわらを持ち帰って家で続きをするという人もいました。大好評につき来年も10月中に開催する予定です。

## カラスウリ

今年も資料館の森にカラスウリの実がなりました。色はあざやかなオレンジ色。資料館に入つてすぐのカウンターの上においてありますので資料館においでの際にぜひおもち帰りください。数にかぎりがありますので、希望者の方は資料館にお早めにお越しください。



カラスウリの実



## 道仏遺跡発掘調査速報

道仏地区区画整理事務所建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査が9月29日から10月17日にかけて行われました。昨年行われた道仏遺跡北側200m地点の道仏北遺跡では、縄文時代早期（約7,000年前）から前期（約5,500年前）の住居の跡が発掘されましたが、今回の道仏遺跡では、古墳時代後期（約1,400年前）の住居の跡がわずか70平米の調査にもかかわらず7軒も発掘されました。この7軒の住居の跡は、いずれも重なり合いながら検出され、比較的短い期間に建て替えが行われたようです。調査地点周辺の畑からは、古墳時代の土器が多数露出していますので、道仏地区周辺は、相当大きなムラが存在していたようです。

この住居の跡はいずれも竪穴住居で、多くは、周溝を伴っています。これは、おそらく木の板等で住居の中に回りの土が入らないようにして構築されたものと推定されます。また、住居跡内からは、生活に使用された多数の土師器や比企郡やその他の窯で焼かれた須恵器、赤色に彩色された土器が出土しました。この時期の竪穴住居は、以前の住居中央に造られた炉から壁際のカマドへと変化したようで、今回の調査ではカマドが検出されています。

田圃を挟んで南側にはほぼ同じ時代の古墳群（姫宮神社古墳）が存在しますのでこの古墳を造った人々が道仏遺跡に居住していたのかもしれませんが。

宮代町の古墳時代の遺跡は、平成2年に山崎山遺跡で鍛冶工房や住居が、昭和49年に山崎北遺跡で住居が1軒確認されてのみで今回が3例目ですが、道仏遺跡のように狭い範囲で多数の住居が重なり合いながら発掘されたのは初めてです。

平成11年には、山崎北遺跡で大型の発掘調査が計画されていますので、これから宮代の古墳時代が次第に明らかとなっていくと推定されます。



道仏遺跡で発掘された  
紡錘車（ぼうすいじゃ）



道仏遺跡発掘現場風景



道仏遺跡で発掘された  
土師器（はじき）



## 資料館日誌抄

平成9年

- 5月4日 越谷市歩こう会見学(80名)  
5月7日 宮代町立百間中学校写生会(117名)  
5月8日 春日部市立内牧小学校見学(152名)  
6月3日 学芸員実習(5名)(6月13日まで)  
6月5日 特別養護老人ホーム みどりの森見学(22名)  
6月12日 企画展「金原遺跡発掘出土品展」  
(8月24日まで)  
7月24日 夏休み体験学習教室「進修学校」第1回  
(7月28日まで)  
8月2日 夏休み体験学習教室「縄文土器づくり」  
(土器づくり)  
8月3日 かやぶき民家で昔話を聞く会  
8月18日 夏休み体験学習教室「進修学校」第2回  
(8月22日まで)  
8月24日 夏休み体験学習教室「縄文土器づくり」  
(土器焼き)  
8月26日 企画展「夏休み体験学習教室 進修学校作品展」  
(9月21日まで)  
8月31日 久喜市歩こう会見学(80名)  
9月16日 中秋の名月お月見会  
9月21日 第一回拓本講座  
9月24日 企画展「秋の収穫～農機具展」  
(10月26日まで)  
9月28日 第二回拓本講座  
10月2日 加須市 県内文化財めぐり見学(35名)  
10月12日 大宮市歩こう会見学(90名)  
10月19日 体験学習 わら細工教室  
10月23日 鷲宮学園(影の国いきがい大学)第18期生見学(8名)  
10月24日 鷲宮学園(影の国いきがい大学)第21期生見学(20名)  
10月25日 古文書講座  
(5回講座)  
(12月13日まで)  
10月30日 特別展「養蚕 錦絵の世界」  
(12月7日まで)  
11月9日 特別展 講演会「養蚕の民俗」

## 郷土資料館利用のご案内

- ◇入館料 無料  
◇開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで  
◇休館日 毎週月曜日(その日が祝日にあたる場合は翌日火曜日も休館)  
5月5日・11月3日は開館、それぞれ翌日が休館  
年末年始(12月26日から1月6日まで)

## 資料寄贈者名簿

平成9年7月から10月までに民具や古文書等の歴史資料を寄贈していただいた方は、下記の通りです。厚く御礼申し上げます。

ご寄贈いただきました資料は今後、企画展等でご紹介させていただきます。

(50音順・敬称略)

伊草愛子 民具 磯井康夫 民具  
折原宏 民具 斎藤新吉 民具  
戸田義一 民俗資料 萩原一九 古文書

今後も、昔を語る様々な資料を収集してまいります。ご協力の程、よろしく願いいたします。

## コラム-クルミの木-

◆季節は夏から秋へと移り、外にでると空気がひんやりと澄みきって感じるこの頃です。夜になると、虫が鳴く声が聞こえてきて、秋が来たことを知らせているかのようです。空も、夏に比べるとずいぶん高くなったように感じます。◆宮代町郷土資料館では10月30日から12月7日まで、特別展「養蚕 錦絵の世界」を開催中です。資料館所蔵のものと埼玉立博物館からお借りした、養蚕に関する明治の錦絵や、町内で使用されていた養蚕の道具や、信仰についての資料もあわせて紹介します。この機会にぜひご覧ください。◆資料館の森では、今年もたくさんの木の实が実りました。柿・くるみ・どんぐり・からすうり。いちょうの木はありますが実がありません。それはなぜかという、いちょうの木にはオス、メスがありどちらか一本だけでは実がならないからだそうです。資料館の森にはいちょうの木が一本しかないのです。◆たまの休日には、木の实を拾いに資料館の森を訪れてはいかがでしょうか。子供達の遊ぶ元気な声や鳥のさえずりが、のどかで、どこかなつかしい気持ちにさせてくれるでしょう。

宮代町郷土資料館だより 第11号

発行年月日 平成9年10月1日

編集発行 宮代町郷土資料館

〒345 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

☎0480 34 8882